

科目名	日本語				英文表記	Japanese		
科目コード	3014							
教員名：吉川友子 技術職員名：								修正
対象学科／専攻コース					学年	必・選	履修・学修	単位数
全学科					3年	選	履修	2単位
授業形態					講義			
授業期間					通年			
目標及び評価方法	目標項目				評価方法及びその割合			
	①日本語の基礎を固め、学んだ文法項目や表現を統合して論理的に思考しながら理解する力を高める。				①定期試験（80%）			
	②簡潔に表現する力を育成する。				②課題（20%）			
	③				③（%）			
	④				④（%）			
	⑤				⑤（%）			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		全プログラム	
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標			
授業概要、方針、履修上の注意	Alt+Enterで改行 日本語を媒体とする多様な学習活動に必要なコミュニケーション能力を、とくに読解および作文に重点を置きながら、育成する。 授業では課題を課し、その提出状況も評価する。							
教科書・教材	『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） 『大学・大学院留学生の日本語①読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） 『大学・大学院留学生の日本語②作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク）							
授 業 計 画								
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目	
1	コースインフォメーション・自己紹介	2	履修内容概観・日本語による自己紹介					
2	読解「異文化適応」	2	段落内の構造・書き言葉の特徴					
3	応用練習・速読	2	段落内の構造・書き言葉の特徴・速読					
4	読解「いじめ」	2	話題とメインアイデア・助詞相当語					
5	応用練習・速読	2	話題とメインアイデア・助詞相当語・速読					
6	読解「衝動買いを誘導する」	2	アウトライン・復文					
7	応用練習・速読	2	アウトライン・復文					
8	中間	2	以上の習熟度を評価					
9	応用練習・速読	2	以上の総復習・速読					
10	読解「ビデオカメラの人間工	2	文章構成・指示表現					
11	応用練習・速読	2	文章構成・指示表現					
12	読解「多様化の中のテレビ」	2	論の展開①・文の構造分析					
13	応用練習・速読	2	論の展開①・文の構造分析					
14	読解「フリーター」	2	論の報告を示す表現・事実(データ)と筆者の					
15	応用練習・速読	2	論の報告を示す表現・事実(データ)と筆者の					
期末	前期末試験	[2]	以上の習熟度を評価					
16	応用練習・速読	2	以上の総復習・速読					
17	読解「安全でおいしい水を	2	論の展開②・文末表現②					
18	応用練習・速読	2	論の展開②・文末表現②・速読					
19	読解「『まじめ』という言葉	2	引用・接続表現と予測					
20	応用練習・速読	2	引用・接続表現と予測・速読					
21	読解「かん告知」	2	要約					
22	応用練習・速読	2	要約・速読					
23	中間	2	以上の習熟度を評価					
24	応用練習・速読	2	以上の総復習・速読					
25	論文を読む①	2	全体構成・序論					
26	応用練習・速読	2	全体構成・序論・速読					

27	論文を読む②	2	本論	
28	応用練習・速読	2	本論・速読	
29	論文を読む③	2	本論・結論	
30	応用練習・速読	2	本論・結論・速読	
期末	後期末試験	[2]	以上の習熟度を評価	
学習時間合計		60	実時間	50
<b>学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）</b> 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)